

患者さんに歯周治療を説明しよう！

毎日の診療の中で患者さんへ分かりやすく説明できることも大切です。

ここでは、下記のような場面で歯科衛生士として患者さんへどんな対応をするか考えていきます。どんなことに気を配り、どんな声かけを行い、どんな行動を取りますか？下記のそれぞれの状況でどんなことが想像できるかを考えて書き込んでみましょう。

Google フォームをお渡しいたしますのでご入力ください。（〆切6月21日まで）



- ① 急性歯周炎の症状で来院された60代男性。「忙しいので痛みだけ取ってほしい」と来院。
- ② IN 脱離で来院された40代男性。口腔内所見は中等度以上あるも、本人は歯周疾患の自覚なし。歯周治療を進めていくために、DHとしてどのようにしますか？
- ③ 「歯磨きをすると出血します。血が止まるように治療してほしいのですが…」
- ④ 歯周基本検査のプロービング中に「痛いからもうしないで！」と強い口調で訴えられた60代女性。
- ⑤ 一見、PCR良好な患者さん。しかしBoP70%以上あり歯間部にのみ歯肉の炎症が目立つ30代女性。
- ⑥ Drからの指示でスケーリングを行おうとしたら「どうせ痛いだけだから、しないで」と言われた。
- ⑦ プロービング終了後「このチクチクする事で何が分かるの？」と尋ねられた。
- ⑧ 「歯周治療って何をやるのですか？」（今までスケーリングはした事があるがSRPはしたことがない方）
- ⑨ 歯周治療ってどれくらいかかるの？
- ⑩ 「歯石を取ってもらった後、しみるようになったんですが…」
- ⑪ SRPをスタートしていても、なかなかPCRが改善しない患者さん
- ⑫ 歯周治療をすると、歯周病は治るのですか？
- ⑬ 「歯周治療を始めてから、歯が伸びた気がするのですが…」と不安そうに訴えられた患者さん
- ⑭ 痛みもないのに、歯周治療しなければならないのはどうしてですか？
- ⑮ 歯周治療が終わっても通い続けたいといけないのはどうしてですか？